取扱説明書

電動カート
ＫＥ７７７（New ロマンス）

● 目 次 ●

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます（http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm）。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき、必要なときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

６カ月に一度の点検を実施しております。
ご購入後１ケ月以内に返信用はがきにて登録していただきますようお願いいたします。

安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

※正しい取扱いに関する必要事項を標示(シンボルマーク)で表しています。

表示	説明
警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
注意	取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
禁止	してはいけないことを示しています。
必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

禁止

●勝手に改造・分解しないでください。
強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。

●操作パネルを分解または開放しないでください。
故障の原因となります。

●酒気帯び運転は絶対にお止めください。
操作を誤る危険性があります。
また、気分が優れないときも運転しないでください。

●認知症の方や電動カートをご使用にあたって事故の恐れのある方のご使用はお止めください。

●深い砂・砂利道・ぬかるみ・田んぼ・あぜ道は走行しないでください。
車輪がめり込んで動けなくなる事があり、故障の原因になります。

●雪道は道路が滑りやすく大変危険ですので、運転をお止めください。

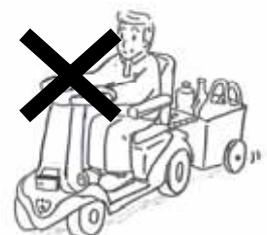
●蛇行運転、急旋回、急発進、急制動はさけてください。

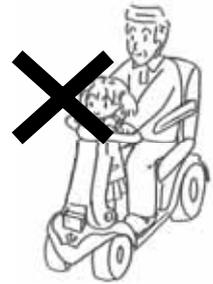
●階段やエスカレーターでの使用はしないでください。

●電動カート以外の目的で使用しないでください。
この商品は電動カートです。車や荷物をけん引することは禁止されています。

警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

禁止

●複数の人数で乗らないでください。

この電動カートは一人用です。二人以上で乗ると破損･事故の原因になります。

●走行中に身を乗り出したり、足を出したりしないでください。

●立って運転しないでください。

●走行する際には片手運転はしないでください。

傘をさしながら、携帯電話で会話をしながら、たばこを吸いながら等の片手運転は大変危険です。両手でしっかりとハンドルを握って走行してください。

●急な坂道の走行はしないでください。

転倒の恐れがあり危険です。

●田んぼ、あぜ道など、草が生えた所を走行しないでください。

車軸などに草が巻きついて故障や発火の原因となります。

●電動カートを火気に近付けないでください。

ボディーが変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、大変危険です。

●坂道での後進は、絶対にしないでください。

転倒する恐れがあります。

下り坂は必ず前進で、速度調節ダイヤルを『低速（1～2)』に合わせ、慎重に走行してください。

坂道はまっすぐ前進で上り下りしてください。

●雨の日の運転･走行はしないでください。

雨水が操作パネル内に入ると操縦不能になる事があり、危険です。

●水洗いしないでください。

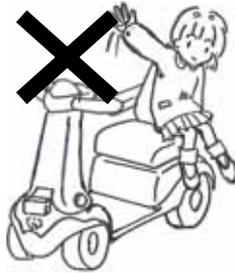
雨水が操作パネル内に入ると操縦不能になる事があり、危険です。

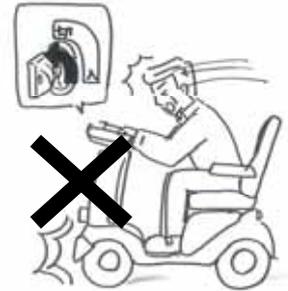
警告 取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

禁止

●夜間の走行はしないでください。

やむを得ず夜間に使用する場合は、介助者に同行していただき、ヘッドライトを点灯したうえ安全を確保してください。
危険ですので、単独走行は絶対にしないでください。

●シート部以外に腰掛けないでください。

●走行中に電源のスイッチを切らないでください。

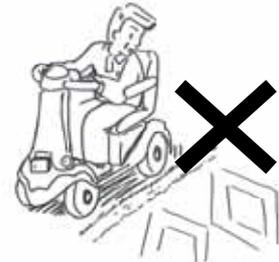
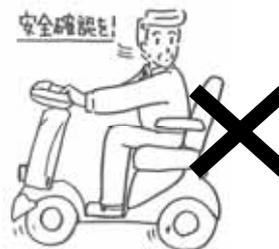
急停止して危険です。

●高圧線やテレビ塔など強い電磁波が出ている場所での使用は避けてください。

必ず守る

●道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

カワムラサイクルの電動カートは道路交通法の「身体障害者用車いす」に該当し、走行中は歩行者として取扱われます。従って「運転免許証」は必要ありません。

●踏み切り、川の端、手すりのない橋等は出来るだけ避けて運転してください。

また、交通量の激しい道路や踏み切り等は介助者と一緒に走行されることをおすすめ致します。

●後進の時は、周囲の安全をよく確認してゆっくりと運転してください。

●ペースメーカーをご使用の方や投薬等により運転に影響がある方のご使用については、医師にご相談ください。

●使用前点検を必ず行ってください。異常が見つかったら、直ちにご使用を中止してください。

●万一電動カートがこの電磁波の影響を受けて停止したと思われる場合は、慌てずに一旦電源を切り、周りに携帯電話等を使用している人がいない（1.5m 以上離れている）ことを確認し、再度電源スイッチを入れ直し、3 秒数えてからゆっくりとアクセルバーを押して発進してください。

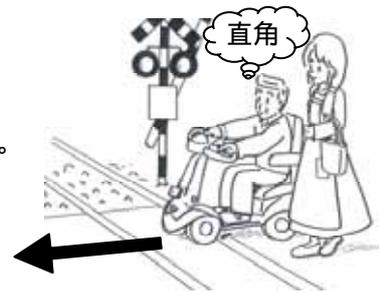
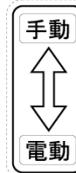
携帯電話や PHS、トランシーバ等の通信機器から出る電磁波が、まれに周りの電気機器類に悪影響を及ぼす場合があることが知られています。

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

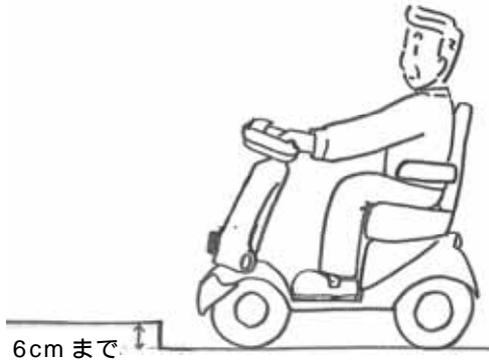
※踏み切りや横断歩道での事故が多発しています。必ず守ってください!!

●踏み切りや溝を横断する場合は、必ず一旦停止し、安全を確かめてから横断してください。
　また、進入する際は、線路（溝）に車輪がはまらないよう線路（溝）に対して直角に横断してください。

●大きな交差点では信号を一回待って横断してください。
　途中で信号が変わるおそれがあり危険です。

●踏み切りの横断やエレベータの乗り降りの際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。
　斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。
　必ず介助者と一緒にわたってください。

●万一、踏み切りや歩道内で立往生した場合は、右側後車輪部付近のクラッチレバーを『手動』状態にし、手で押して脱出してください。
　クラッチレバーは上に上げると『手動』状態になります。

●電車や自動車が近づくなど危険な場所は、身の安全を優先し、安全な場所へ直ちに避難してください。

●乗り越えできる最大段差は 6cm までです。
　大きな段差・溝の乗り越えは避けて走行してください。段差に対して直角方向に乗り越え、上り坂は特に避けてください。

●乗り越えできる溝の最大幅は 10cm までです。
　溝に対して直角方向に乗り越え、上り坂は特に避けてください。

●ハタキ等でモーターや充電器、車軸などに付いた綿埃などを取り除いてください。
　放置すると故障や発火の原因になることがあります。

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

禁止

●下記のようなところに電動車いすを放置しないでください。

- ・車道に近いところ
- ・人通りのあるところ
- ・雨風の当たるところ
- ・傾斜地
- ・路面に段差や凸凹のあるところ
- ・湿気の多いところ
- ・火気のあるところ

必ず守る

●アクセルレバーは出来るだけゆっくり操作してください。

急な操作を行なうと、急発進・急停止になり大変危険です。また急発進を繰り返し行なうと、モーターに過負担がかかり故障の原因につながります。

●使用されない時、または電動カートから離れる時は、いたずら防止のためキーを抜いておくことをおすすめ致します。

●長い下り坂を連続して下るとき、モーターの発電からメンイコントローラーを保護するための機能が働いて停止する場合があります。

もし停止したときは、電源を入れ直しスピードを落して坂を下ってください。

●長い坂道などを走行すると、メインコントロール基板が高温になる場合があります。

この場合、操作パネルの「注意（赤)」ランプが点灯し、そのまま走行すると安全装置が働いて停止します。ランプが点灯したら直ちに安全な場所へ移動し、５分以上車体を休ませてください。

●オプション部品を取り付ける、大きく寸法の改造を行う場合には警察の確認が必要です。

その際は販売店にご相談ください。

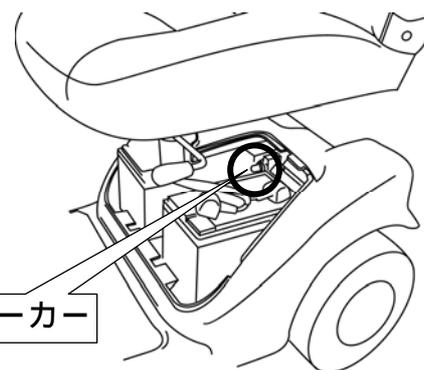
●急坂の上りや段差を無理に上がろうとすると保護機能が働き、モーター出力を低下させます。

その時は、電源を入れ直し進路を変えてください。

●バッテリーが満充電の状態で坂を下ると、停止する場合があります。

●急な坂道を連続して走行すると、急にブレーキが効いて動かなくなる時があります。

これは回路ブレーカーが働いた為ですので、ブレーカーを押し込むと、再度運転することが出来ます。

（ブレーカーが働く時は、能力を超えたことになりますので、進路を変えてください。ブレーカーはバッテリー交換用足元カバーを開けてバッテリーの間にあります。）

●ギア・モーター部より異常な音が出た場合はご使用を避け、お買い上げの販売店にご相談ください。

●突起物、障害物は避けて走行してください。

●突起物、障害物を左右の車輪の間にくぐらせるような走行は避けて下さい。

バッテリーやモーターを破損する恐れがあります。

●坂道は斜め走行や横切る事をせず、まっすぐ前進で上り下りしてください。

●回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。

また、衣服等が車輪やシート回転部にからまないようご注意ください。

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

●安全のため、明るい時間でもヘッドライトを点灯しましょう。
●ご使用者の体重と積載物の合計が 100kg 以上にならないようにしてください。

周囲の方への注意事項

●ご使用者が電動カートを操作するにあたり、問題がないことを確認してください。

●電動カートに異常がないことをご確認ください。
　万が一、異常がある場合は直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

イラストや写真が一部実車と異なる場合があります。

１.製品の特徴

・この商品は、自立歩行が可能な方の電動カートです。
・一人乗り用電動カートです。
・移動を目的としています。

2.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

品目	数量
・キー	２個
・工具（＋ドライバー、スパナ、4 ㎜六角レンチ）	各 1 本
・取扱説明書	1 冊
・安全の手引き	1 冊
・安全運転確認記録表（保証書登録）	1 冊
・保険加入者証、案内、内容説明書、払込用紙	各 1 枚

3.安全ラベル

・ 取扱い上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
・ 安全ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。

4.各部名称と取扱方法

⑯アームレスト

⑩ハンドル

⑰背もたれ角度
調整レバー

⑫手押し用ブレーキ
レバー

⑬シート回転レバー

⑪充電ランプ確認窓

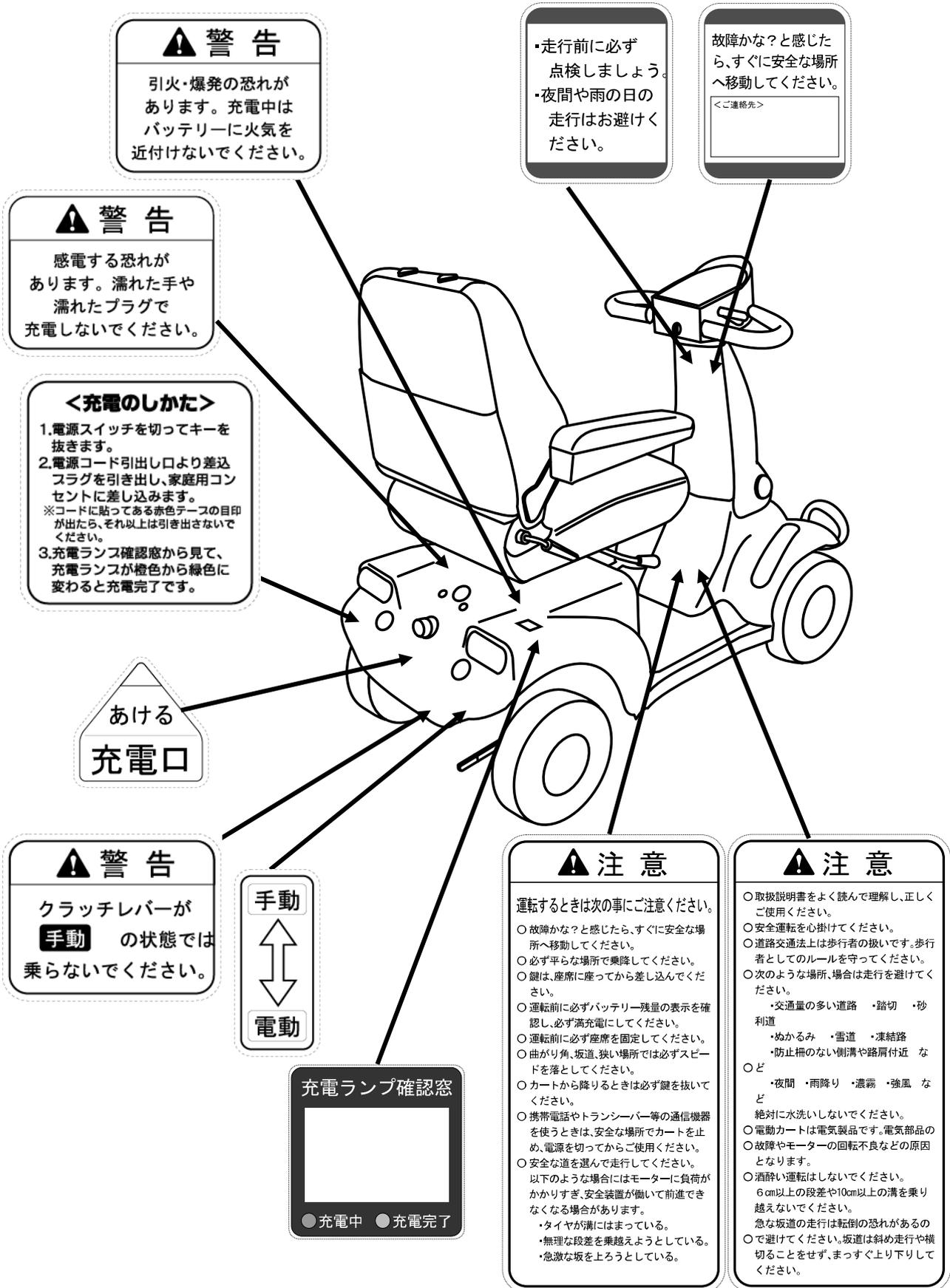
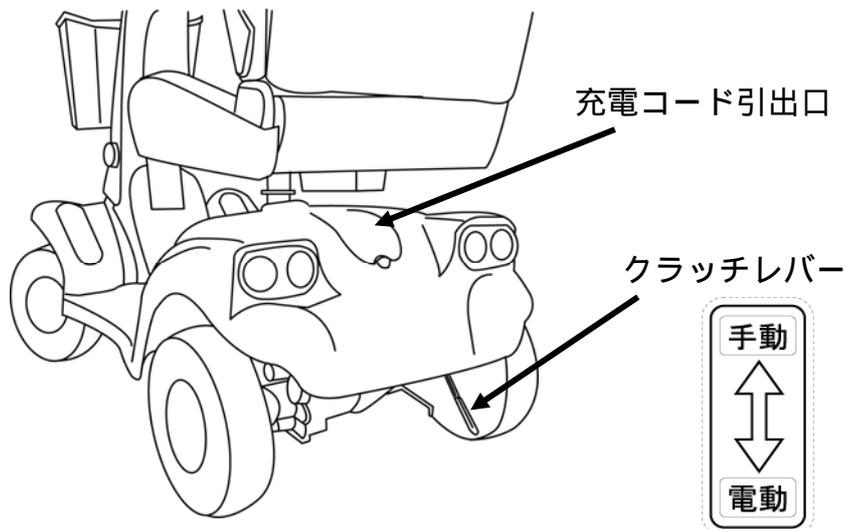
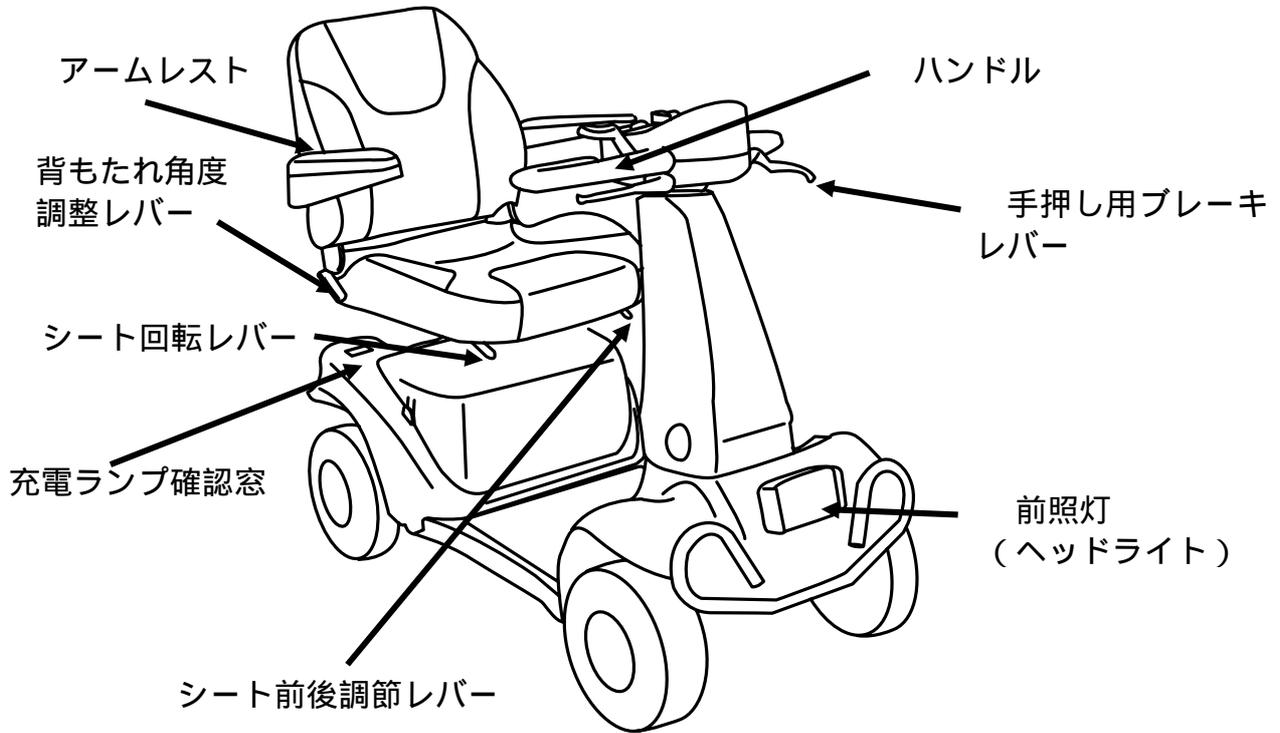
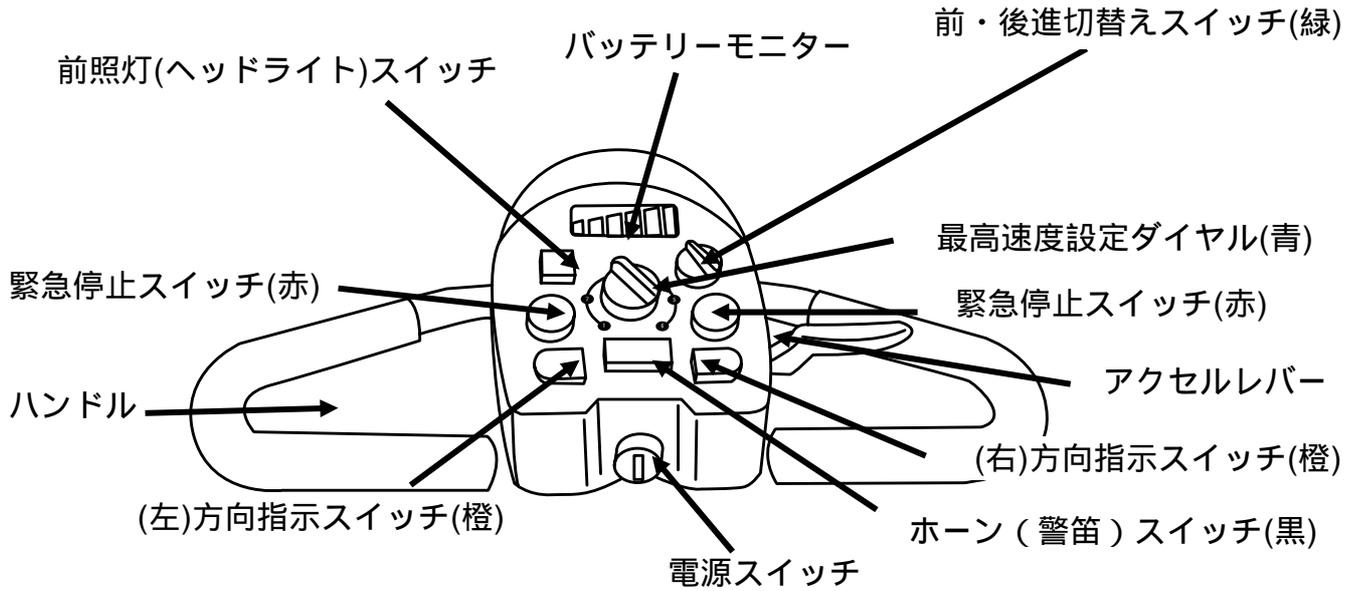
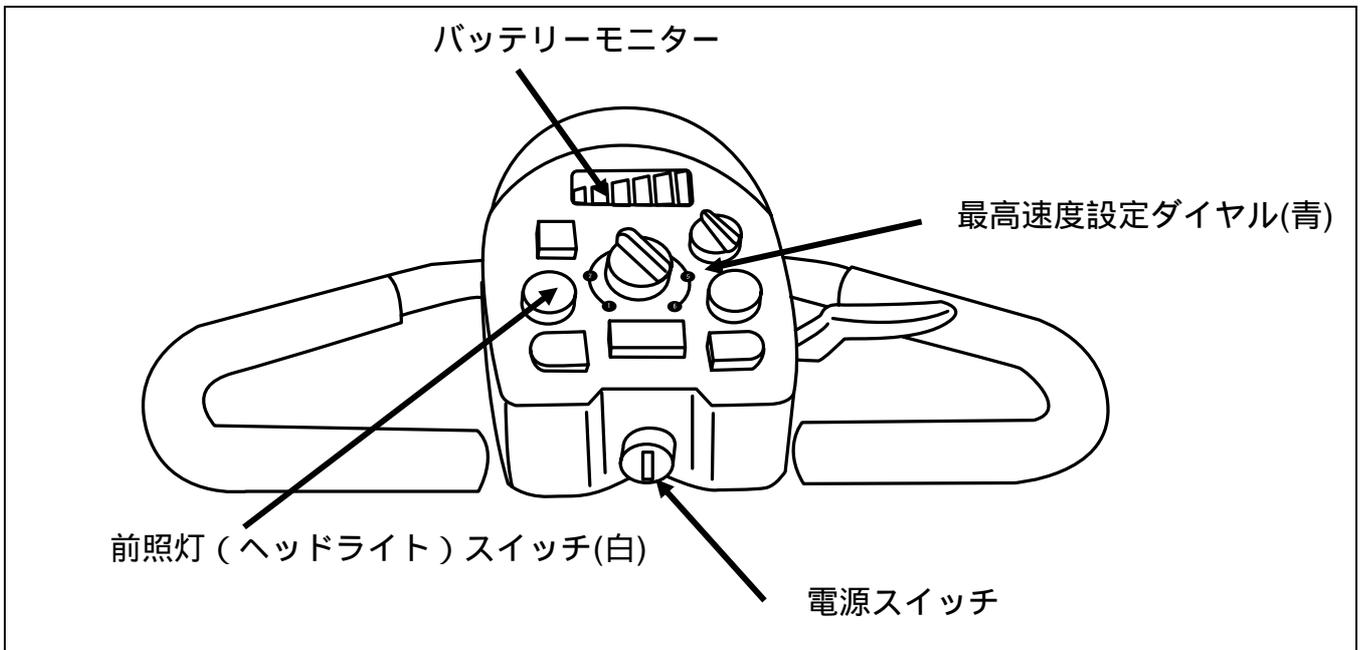
⑮前照灯
（ヘッドライト）

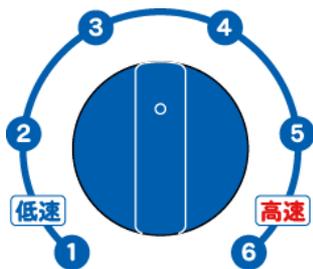
⑭シート前後調節レバー

⑱充電コード引出口

⑲クラッチレバー

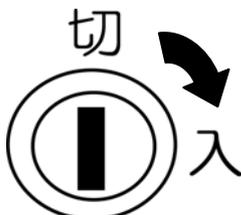
手動

電動

⚠警告 運転するときは座席シートを元の位置に戻し、位置が固定されていることを確認してください。

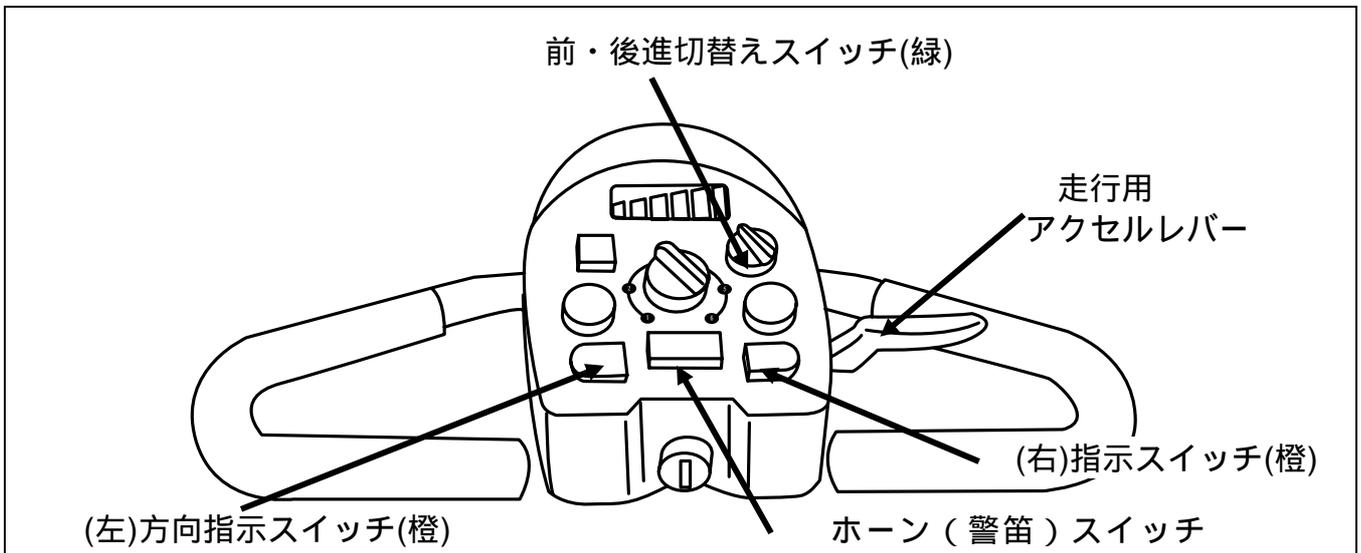
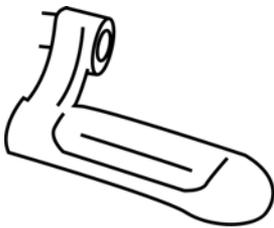
①最高速度設定ダイヤル(青)

アクセルレバーをいっぱいまで押さえた時の最高速度を設定できます。
・ダイヤルを時計回りにまわして『1』から『6』へ速度を無段階(1～6km/h)に調整することができます。

②バッテリーモニター

バッテリーの残量を示します。(6 段階)
・残量の確認は平坦路を数分走行してから行います。
(発進時や登坂・段差では一時的にランプの残量が減ることがあります。)
・冬期はバッテリーの性能が低下するため、モニターのランプが早く消えることがあります。

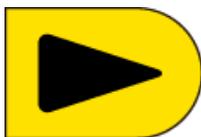
③電源スイッチ

キーを差し込んで時計回りに 90 度まわすと電源が入ります。
・バッテリーモニターの点灯を確認してください。
・電源を切るときは反時計回りにキーをまわし、元の位置でキーを抜きます。
・操作をしない状態が 5 分続くと操作無効になり、電源ランプが点滅します。もう一度、電源を入れ直してください。

④前照灯(ヘッドライト)スイッチ(白)

四角のスイッチを押すと前照灯(ヘッドライト)が点灯します。もう一度押すと消灯します。

⑤走行用アクセルレバー

運転方法は、P.22 をご覧ください。

下へ押さえると進みます。
・レバーから手を放すと自動的にブレーキがかかります。
・レバーの押さえ加減で、0km/h から設定最高速度の間で走行速度を調節できます。
・使用者に合わせてレバーは左右どちらでも付け替えることができます。（販売店にご相談ください。）
※この電動カートにはコーナー減速機能がついています。
走行時ハンドルを左右共に約 12 度以上切ると、直進時の２５%減速します。ハンドルを 12 度未満にもどすと元のスピードに戻ります。
（例：6 km/h で走行中は 4.5km/h まで減速します）
後進時も同様です。

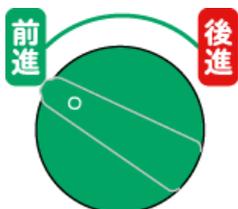
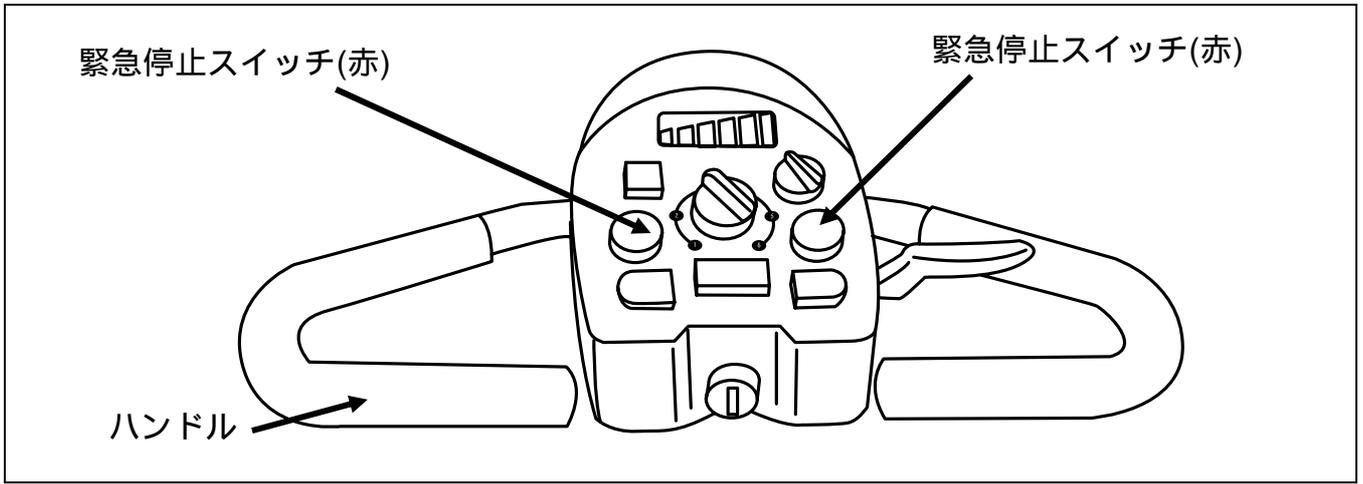
⑥ホーン(警笛)スイッチ(黒)

スイッチを押すとホーン(警笛)が鳴ります。離すと鳴りやみます。

⑦(右)方向指示スイッチ(橙)

右に曲がるときにスイッチを押すと方向指示灯が点滅します。
解除する際には、もう一度スイッチを押すと消えます。

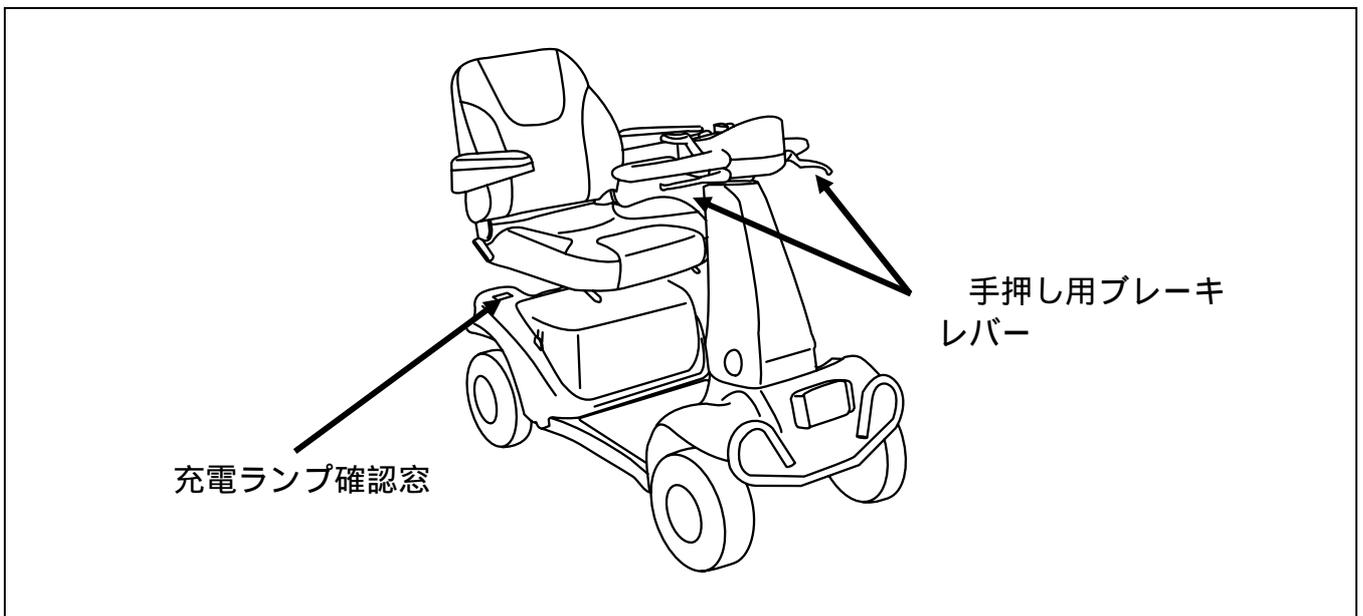
⑦(左)方向指示スイッチ(橙)

左に曲がるときにスイッチを押すと方向指示灯が点滅します。
解除する際には、もう一度スイッチを押すと消えます。

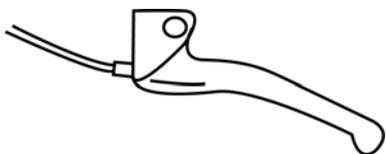
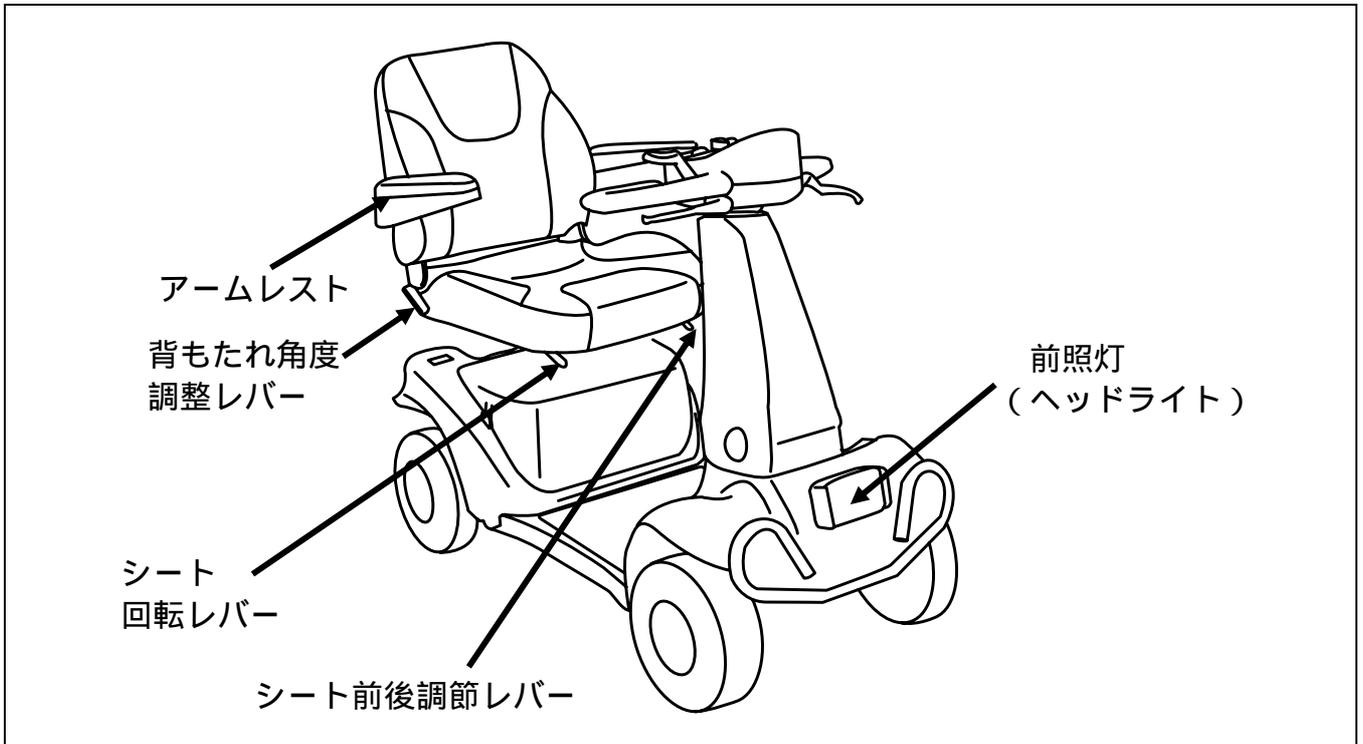
⑧前・後進切替えスイッチ

進みたい方向にスイッチを切替えてください。

⑨緊急停止スイッチ(赤)

緊急停止させたい場合に、左右どちらかの緊急停止スイッチを押すとアクセルレバーを押していても停止できます。

⑩ハンドル

走行時に握る場所です。走行時は必ず両手でしっかりとハンドルを握って操作してください。

⑪充電ランプ確認窓

充電中あるいは充電完了を充電器のランプを確認できます。

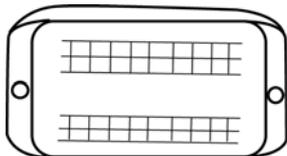
⑫手押し用ブレーキレバー

手押し時、緊急時にレバーを握ってブレーキをかけてください。

⑬シート回転レバー

シートは左前の黒いレバーを上げながら、左右それぞれ 45 度ずつ回転できます。

⚠ 警告	運転するときは座席シートを元の位置に戻し、位置が固定されていることを確認してください。

⑭シート前後調節レバー

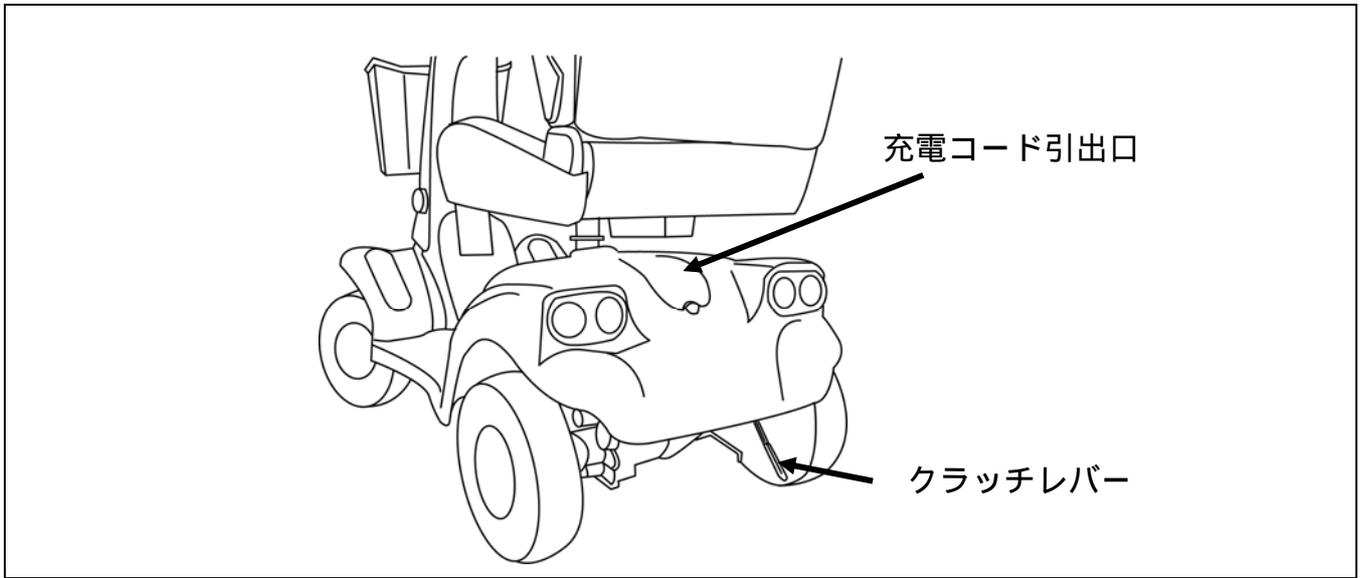
シート右前のレバーを外側に引きながらシートの前後位置を調節します。レバーを放すと、その位置で固定できます。

⑮前照灯（ヘッドライト）

④の前照灯スイッチを押すと点灯します。
角度を変えることができます。

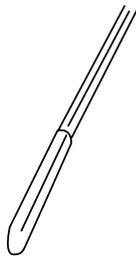
⑯アームレスト

乗降車時、上へ跳ね上げることができます。また、肘掛け裏にあるローラーを廻すと角度を変えることができます。

⑰背もたれ角度調整レバー

レバーを上へ引き上げると、背もたれの角度が調整できます。反対側にあるネジの位置を変えると背もたれ角度調整範囲を変えることができます。

⑱充電コード引出口

充電する際に、ふたを開けて充電コードを引き出してください。もう一度、軽く引くとコードが巻き取られます。

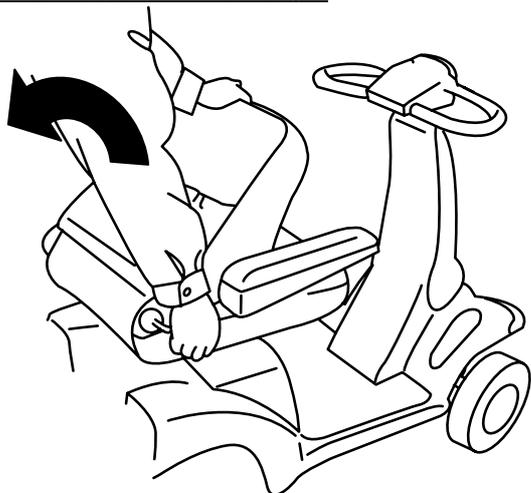
※充電コードに貼ってある黄色のテープの目印がコードリールから出たら、それ以上はコードを引き出さないでください。断線する恐れがあります。

⑲クラッチレバー

走行、手押しの切り換えができます。

・走行するときはクラッチレバーを電動側にし、手押しするにはクラッチレバーを引き上げ手動側にします。

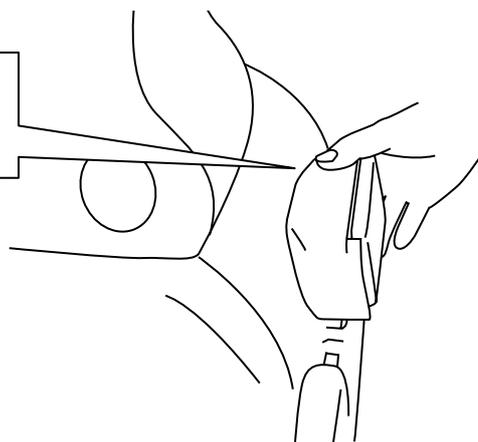
●転倒・衝突の恐れがあります。危険ですのでクラッチレバーを上げた状態（手動の状態）では乗車しないでください。

●坂道等ではブレーキが効かず事故につながることがあります。クラッチレバーを上げた状態（手動の状態）で放置することは止めてください。

5.組立方法

①シートを起こします。

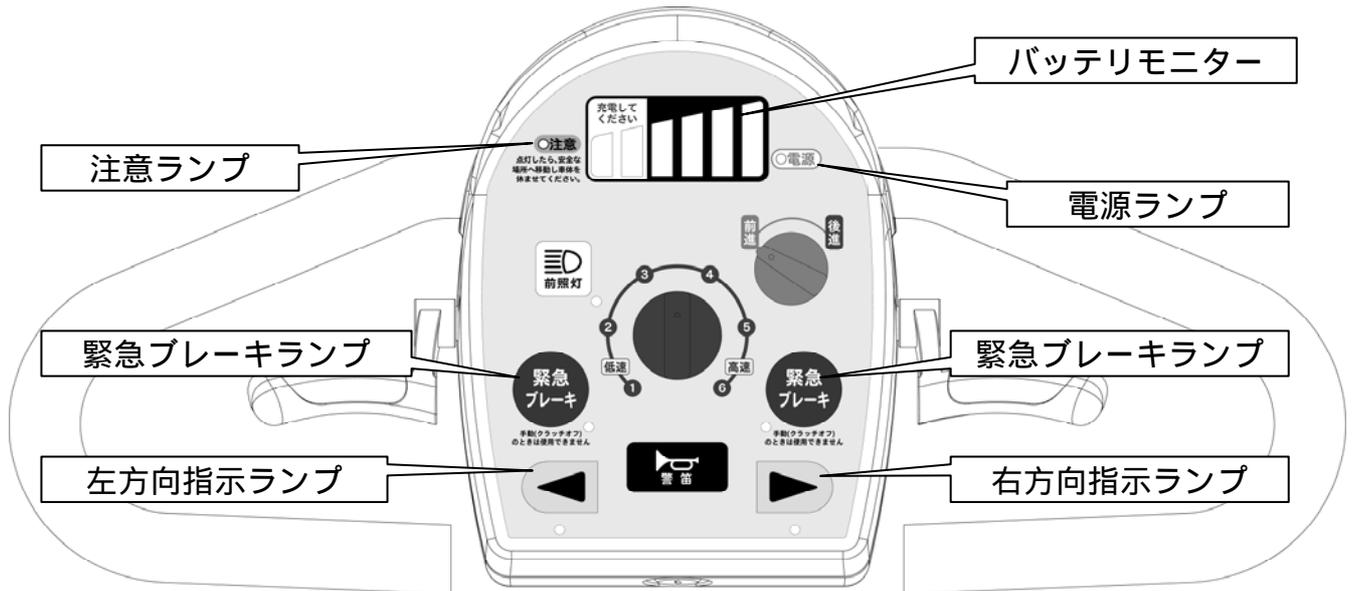
背もたれ角度調整レバーを引きながら、
シートを起こします。

②前照灯の向きを調整します。

前照灯下のナットを緩め、前照灯の向きを調整し、
前照灯下のナットをしっかりと締めてください。

③シートの前後位置を調整します。

・シート左前のレバーを外側に引きながらシートの前後位置を調節します。レバーを放すと、
その位置で固定できます。

6.操作パネル表示と警告音

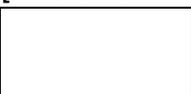
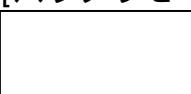
エラー表示と操作表示があります。

安全機能について

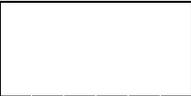
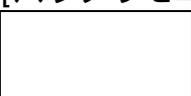
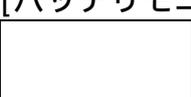
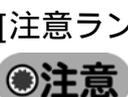
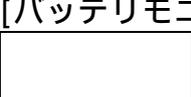
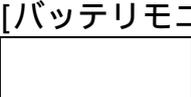
表示内容	エラーコード	意味および対処方法
[バッテリモニター] [警告音] バッテリ残量を ●● 表示 ●●●● 点灯 ●●●●●● ピ、ピ、ピ、ピ、ピ・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時　発進できません。 走行時　停止します。	E123456	充電中警報 <対処方法> 一旦電源を切り、充電コード差込プラグをコンセントから抜いてから電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ○○ ●○○○ 点滅 ●○●○○○ ピ、ピ、ピ、ピ、ピ・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 [緊急停止ランプ] ブレーキ 手動(クラッチオフ)のときは使用できません 左右共 点滅 発進時　発進できません。 走行時　--------	E13	急発進防止警報 <対処方法> 一旦電源を OFF にし、アクセルから手を離して電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ○● ●○○● 点滅 ●○●○○● ピ、ピ、ピ、ピ、ピ・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 [緊急停止ランプ] ブレーキ 手動(クラッチオフ)のときは使用できません 左右共 点滅 発進時　-------- 走行時　停止します。	E136	走行中の前･後進切替警報 <対処方法> 一旦電源を OFF にし、再度電源を入れてください。

表示内容	エラーコード	原因箇所および対処方法
[電源ランプ] ◉電源 点滅 [警告音] ピーーーーーーーー ★２秒間鳴った後停止します。 発進時：発進できません。 走行時：--------	K1	電源スイッチ切り忘れ警報 <対処方法> 一旦電源を OFF にし、再度電源を入れてください。
[電源ランプ] ◉電源 点滅 [警告音] ピーーーーーーーー ★２秒間鳴った後停止します。 [緊急停止ランプ] ブレーキ 左右共 点灯 手動(クラッチオフ)のときは使用できません 発進時：発進できません。 走行時：--------	KE1	緊急停止ボタン連打警報 <対処方法> 一旦電源を OFF にし、再度電源を入れてください。

異常・故障による注意および警告

表示内容	エラーコード		原因箇所および対処方法
[注意ランプ] ◉注意 点滅 (1秒に1回) [警告音] ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	C1	[注意]	過負荷 <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] 点滅 ●○ ○○●○ ●○○○●○ [警告音] ピーー、ピーー、ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E15	【警告】	
[注意ランプ] ◉注意 点滅 (3秒に1回) [警告音] ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	C3	[注意]	過出力 <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] 点滅 ○○ ○●○○ ●○○●○○ [警告音] ピーー、ピーー、ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E14	【警告】	
[バッテリモニター] 点滅 ○● ○●○● ●○○●○● [警告音] ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E146	[注意]	電流センサ <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。

[バッテリモニター] ○● ●●○● 点滅 ●○●●○● [警告音] ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E1346	[注意]	方向指示器スイッチ(右) <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ●○ ●●●○ 点滅 ●○●●●○ [警告音] ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E1345	[注意]	方向指示器スイッチ(左) <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ●● ●●●● 点滅 ●○●●●● [警告音] ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E13456	[注意]	前照灯スイッチ <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ○○ ○○○○ 点滅 ●○○○○○ [警告音] なし 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E1	[注意]	バッテリ残量 <対処方法> 充電してください。
[バッテリモニター] ●○ ○●●○ 点滅 ○○○●●○ [警告音] ピーー、ピーー、ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E45	【警告】	
[バッテリモニター] ●○ ●○●○ 点滅 ○●●○●○ [警告音] ピーー、ピーー、ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E235	【警告】	バッテリ高電圧 <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ○● ○○○● 点滅 ●●○○○● [警告音] ピーー、ピーー、ピーー・・・ ★30 秒間または電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E126	[注意]	緊急停止ブレーキスイッチ(左) <対処方法> 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。

表示	コード	区分	内容
[バッテリモニター] ○● ○○○● ●●○○○● 点滅 [警告音] ピーーーーーーーーーーー ★5 秒間鳴った後、停止します。 [緊急停止ランプ] ブレーキ 手動(クラッチオフ)のときは使用できません 左右共 点灯 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E126	【警告】	緊急停止ブレーキスイッチ(左) ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ●○ ○○●○ ●●○○●○ 点滅 [警告音] ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★30 秒間または電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E125	[注意]	緊急停止ブレーキスイッチ(右) ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ●○ ○○●○ ●●○○●○ 点滅 [警告音] ピーーーーーーーーーーー ★5 秒間鳴った後、停止します。 [緊急停止ランプ] ブレーキ 手動(クラッチオフ)のときは使用できません 左右共 点灯 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E125	【警告】	
[バッテリモニター] ○○ ●●○○ ●○●●○○ 点滅 [警告音] ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★30 秒間または電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	E134	[注意]	前後切替スイッチ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] ○○ ●●○○ ●○●●○○ 点滅 [警告音] ピーーーーーーーーーーー ★5 秒間鳴った後、停止します。 [緊急停止ランプ] 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E134	【警告】	
[バッテリモニター] ●○ ○○●○ ○●○○●○ 点滅 [警告音] ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E25	【警告】	モータ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。

表示・警告音	コード	区分	内容
[バッテリモニター] [警告音] ●○ ○○●○ 点滅 ○●○○●○ ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E256	【警告】	モータ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ●● ○●●● 点滅 ○○○●●● ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E456	【警告】	アクセル ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ●○ ●○●○ 点滅 ●○●○●○ ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E135	【警告】	アクセル・ メインコントローラ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ○○ ●○○○ 点滅 ○●●○○○ ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E23	【警告】	メインコントローラ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[注意ランプ] [警告音] ◉注意 点滅 (2秒に1回) ピー、ピー、ピー・・・ ★20 秒に 1 回、5 秒間(5 回)。 発進時：発進できますが、警告は継続して表示されます。 走行時：走行できますが、警告は継続して表示されます。	C3	[注意]	メインコントローラ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切って５分以上車体を休ませた後、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ○● ●○○● 点滅 ○●●○○● ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E236	【警告】	電磁ブレーキ ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。
[バッテリモニター] [警告音] ●○ ●●●○ 点滅 ○○●●●○ ピーー、ピーー、 ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時：発進できません。 走行時：停止します。	E345	【警告】	マイコン(コンピュータ) ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。

[バッテリモニター] ●○ ●●●○ 点滅 ○○●●●○ [警告音] ピーー、ピーー、ピーー・・・ ★電源を切るまで鳴り続けます。 発進時: 発進できません。 走行時: 停止します。	E26	【警告】	メインハーネス ＜対処方法＞ 安全な場所に移動し、一旦電源を切り、再度電源を入れてください。

操作上のパネル表示および警告音について

操作内容	表示内容
電源	★電源キーを右に回して電源を入れます。 [電源ランプ] 電源 点灯 [警告音] なし ★電源キーを左に回して電源を切ると消えます。
右折時方向指示	★右方向指示ボタンを押します。 [右方向指示ランプ] 点滅 [警告音] ピー、 ピー、 ピー・・・ ★再度ボタンを押すと、ランプ、音ともに消えます。
左折時方向指示	★左方向指示ボタンを押します。 [左方向指示ランプ] 点滅 [警告音] ピー、 ピー、 ピー・・・ ★再度ボタンを押すと、ランプ、音ともに消えます。
後進	★前後進切替スイッチを「後進」側に回します。 [警告音] ピーー、 ピーー、 ピーー・・・ [テールランプ] 点滅 [前照灯(ヘッドライト)] 点滅 ★前後進切替スイッチを「前進」側に回すと、ランプ、音ともに消えます。

7.走行前に点検してください

走行する前には必ず次の各部を点検し、異常がないことを確認してください。異常があった場合にはご使用をお止めいただき、お買い上げの販売店にご相談ください。

＜車体まわり＞

反射板（リフレクター）	汚れや損傷はありませんか？ ゆるみ、ガタはありませんか？
タイヤ	亀裂や損傷はありませんか？ タイヤはすり減っていませんか？ 釘、石、その他の異物が刺さったり、噛みこんだりしていませんか？ 空気は入っていますか？(エアータイヤのみ)
クラッチレバー	クラッチレバーは正常に作動しますか？
シートレバー	確実に固定されていますか？
ねじ、ノブ類	ねじ、ノブ類の緩みはありませんか？
手押し用ブレーキ	正常に作動しますか？

＜座席に座って＞

ハンドル	左右スムーズに動きますか？ 大きなガタつきはないですか？
バッテリーモニター	残量表示の目盛が全て点灯していますか？
ホーン(警笛)スイッチ	ホーンは鳴りますか？
方向指示器	右、左、それぞれ点滅しますか？
前照灯スイッチ	前照灯（ライト）は点灯しますか？

＜走行して＞

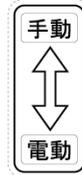
アクセルレバー	押さえる、離すの操作で走行、停止しますか？
前・後切替スイッチ	正常に作動しますか？
最高速度設定ダイヤル	正常に作動しますか？
モーター	モーターに異常音はないですか？ 電磁ブレーキは正常に作動しますか？

※必ず最高速度設定ダイヤルを最低速に合わせて点検を開始してください。

8．運転の方法

＜お出かけの前に＞

①クラッチレバーが下がっている状態(電動の状態)にあり、車輪が動かない事を確認してください。
クラッチレバーを上げた状態（手動の状態）では、アクセルレバーを押さえても本機は動きません。

手動
電動

②必ず、平らな場所で乗降してください。

③シートがしっかりと固定されている事を確認してください。

④バッテリーが充分に充電されている事を確認してください。不足している場合は充電してください。

⑤前照灯スイッチを押し、前照灯の点灯・消灯を点検してください。

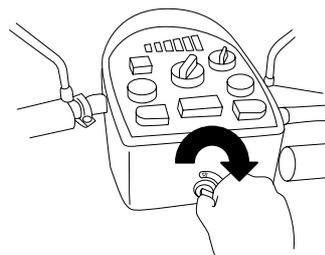
⚠ 警 告

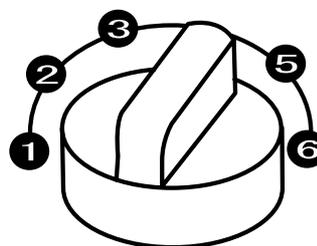
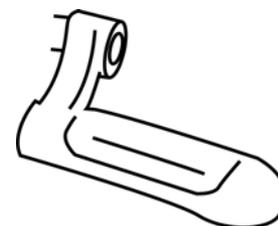
●坂道や斜面ではクラッチレバー操作は避けてください。
平坦な場所で行ってください。

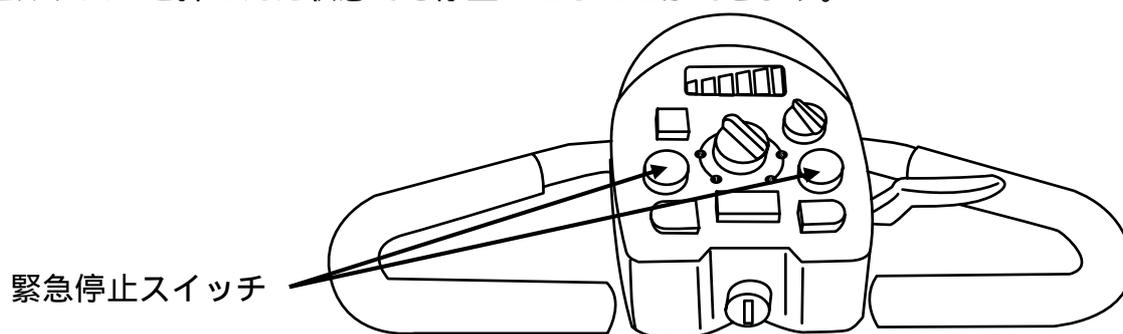
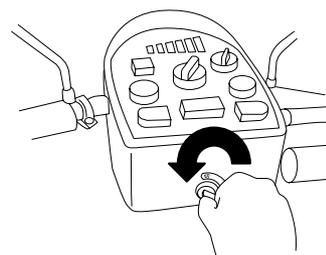
●クラッチレバーを上げた状態（手動の状態）特に坂道や斜面等では乗車・走行しないでください。
転倒・衝突・暴走の恐れがあります。

●クラッチレバーを上げた状態（手動の状態）で放置しないでください。
坂道等ではブレーキが効かず事故につながることがあります。

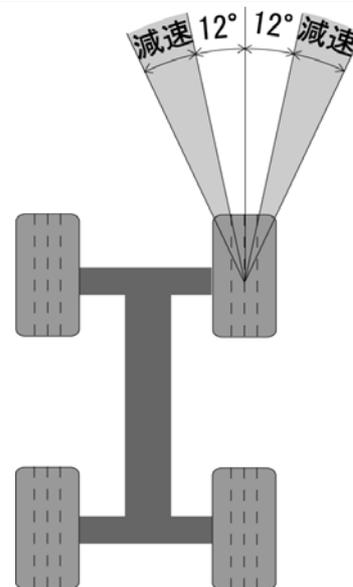
＜走行について＞

①電源スイッチのキーを右に廻して電源を入れます。
電源を入れると、すべての操作パネル上のランプが点きます。いったん消えてバッテリーモニター、電源ランプが点灯し、ピピッと音が鳴ります。この音を確認してから次の操作を行ってください。

②前・後進切替スイッチが進みたい方向に切り替ってきることを確認します。
[前進する場合]　前・後進切替スイッチが前進になっていることを確認します。
[後進する場合]　前・後進切替スイッチが後進になっていることを確認します。

③最高速度設定ダイヤルを『低速（1～2）』位置にしてください。
運転になれるまで及び屋内や狭い場所、曲がり角での走行は、速度を落して運転することをおすすめします。

④アクセルレバーをゆっくりと下に押さえます。
アクセルレバーを離すと自動的に電磁ブレーキがかかり停止します。
アクセルレバーの押さえ加減で加速・減速ができます。最高速度は、最高速度設定ダイヤルにて無段階調整（1～6km）ができます。（後進時の最高速度は、前進時の 70%となります。）

⚠ 注 意
●坂道では速度を落して前進走行で上り下りしてください。
●走行中は最高速度設定ダイヤルを操作しないでください。

⑤緊急停止をするときはアクセルレバーから手を離してください。
万が一、周囲の方が緊急停止させたい場合は、緊急停止スイッチを押してください。
アクセルレバーを押さえた状態でも停止させることができます。

⑥降車するときは本機が完全に停止したのを確認してから電源スイッチを「切」にしてキーを抜いてから降車してください。

★コーナー減速機能について

この電動カートには、コーナー減速機能がついています。
・走行時ハンドルを左右共に 12 度以上切ると、直進時の 25%減速します。
・ハンドルを 12 度未満に戻すと元のスピードに戻ります。
・前進、後進ともに減速します。

[例] 前進時､6km/h で走行中は 4.5km/h まで減速します。
後進時､2km/h で走行中は 1.5km/h まで減速します。

★走行性能限界について

電動カートの走行性能には限界があります。
これを超えるような走行は絶対にしないでください。
事故につながる恐れがあります。

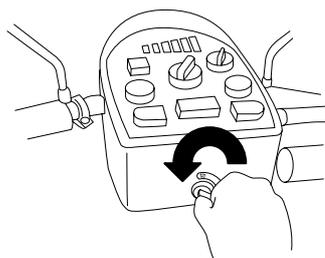
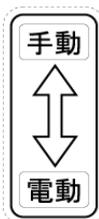
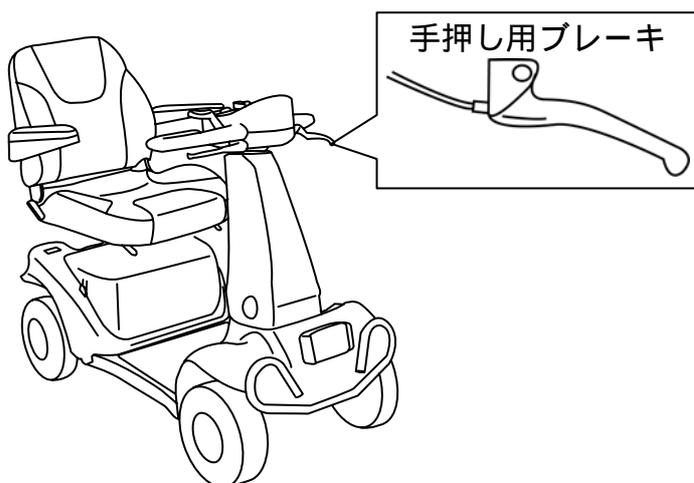
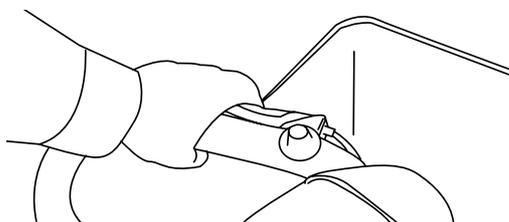
段差乗り越え高さ	６㎝以下
最大溝幅	10 ㎝
最大登坂角度	10 度

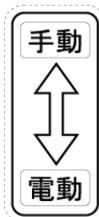
⚠ 警 告

●走行中に身を乗り出したり、足を出したりしないでください。
転倒したりや足をはさむ恐れがあります。

●走行中に電源を切らないでください。
急停止し転倒する恐れがあります。

＜手で押して移動するとき＞

①平坦な場所で、電源スイッチを切ってから操作してください。

① クラッチレバーを上げた状態(手動の状態)にしてください。

③ハンドルをしっかり握り、手押し用ブレーキに指を掛けゆっくりと押してください。
停止するときは、手押し用ブレーキをご使用ください。

手動モードでも一定の速度になると電磁ブレーキがかかります。
車体を停止させるとブレーキが解除され、再度進めるようになります。

④車体から離れる時は、必ずクラッチレバーを電動に切り替えてください。

⚠ 注 意

●運転を再開する時は、クラッチレバーが電動になっているかを確認してください。

9. バッテリー

⚠ 警 告

●充電中にバッテリーを火気に近付けないでください。
　引火・爆発する恐れがあります。

●手や車体が濡れているときには乾くまで触らないでください。
　感電の恐れがあります。

●清掃するときは水気をよく絞った布で汚れを拭き取ってください。
　電気の発生を防止するためです。

●車体カバー（別売）をかけたまま、充電しないでください。

●直射日光を避け、風通しのよい場所で充電してください。

＜充電について＞

・購入後初めて使用する前に必ず充電してください。

・走行中にバッテリーモニターのランプが 2 個の状態になったら充電してください。
　ただし、走行中にバッテリー切れになる恐れがありますので早めに充電してください。

・充電は必ず充電完了まで行ってください。
　充電の中断を繰り返すとバッテリーの劣化が早くなります。

・バッテリーは長時間使用しないときでも 1 ヶ月に 1 度程度充電してください。
　バッテリーは使用しない間も自己放電により電気容量が減ります。減りすぎるといくら充電しても元の性能は戻らなくなり、バッテリーが使用不能になってしまいますのでご注意ください。

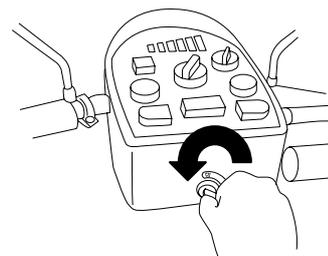
・年に一度はバッテリー交換をしてください。

・充電はたこ足配線、長いコードでは行わないでください。

⚠ 注 意

●坂道や冬期、使用状況や使用年数により走行時間・距離が短くなります。
　帰るときのことを考え、余裕を持って走行してください。

<充電のしかた>

①キーをまわして電源スイッチを切り、キーを抜きます。

②後カバーにある充電コード引出口のふたを開けます。

③差込プラグを引き出して、家庭用コンセントに差し込んでください。コードに貼ってある赤色テープの目印がコードリールから出たらそれ以上は引き出さないでください。コードリールが断線する恐れがあります。

④後カバー上面の右側にある充電ランプ確認窓から電源ランプ（緑色）、充電ランプ（橙色）が見えるのを確認してください。充電ランプ（橙色）が（緑色）に変わると充電完了です。

★充電時間について

バッテリーの残量により、充電にかかる時間は異なりますが、通常４～８時間程度で完了します。また、ご使用量が多いと 12～16 時間かかることもあります。

⚠注 意

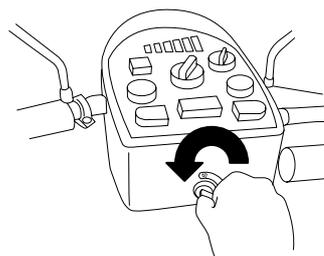
●専用のバッテリーおよび充電器以外は絶対に使用しないでください。

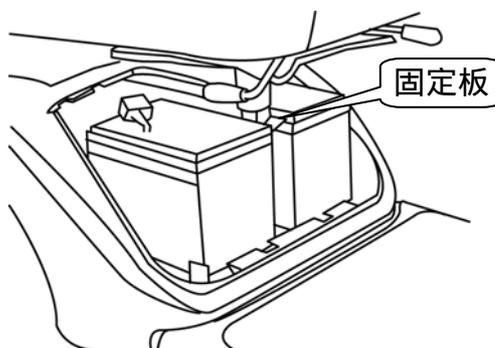
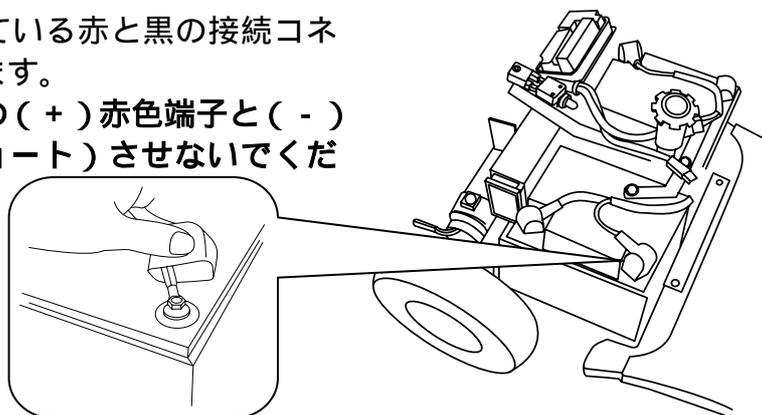
●満充電時に差込プラグをコンセントに差し込んでも、必ず充電ランプ（橙色）が点きます。しばらくすると充電ランプ（橙色）が（緑色）に変わります。差込プラグをコンセントに差し込んだ時に、充電ランプ（緑色）が点いた場合は、充電器と本体をつなぐプラグが外れています。プラグを確認してください。

●走行時は、充電コードを確実に収納してください。
収納せずに走行すると車輪に巻きこむ恐れがあります。

●充電コードを収納する時は、コードがねじれないよう収納してください。
コードリール故障の原因になります。

＜バッテリーの交換＞

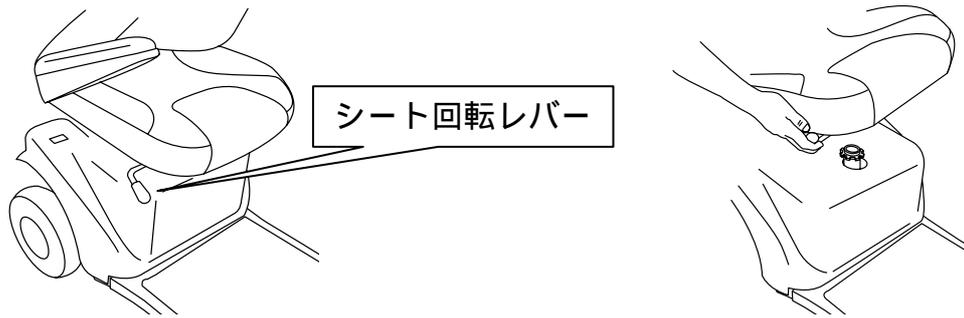
①キーをまわして電源スイッチを切り、キーを抜きます。

②座席下にあるバッテリー交換用カバーの両端にある固定レバーを押さえながらカバーを外します。（下側から外してください。）

③バッテリーを押さえている固定板を外します。

④バッテリーにつながっている赤と黒の接続コネクターをそれぞれ外します。
※工具等でバッテリーの（＋）赤色端子と（－）黒色端子を短絡（ショート）させないでください。

⑤バッテリーを取り出します。
※バッテリーを交換するときは指をはさまないように注意してください。

⑥新しいバッテリーを用意し、バッテリーコードを付け替えてください。（＋（赤色）、－（黒色）にご注意ください。）このとき、端子をネジでしっかり固定してください。

⑦後ろカバーを被せます。
※このとき、充電コードを少し引っ張り充電コードを挟まないように収納してください。

⑧シートを取付けます。

シート回転レバーを上に引っ張りながらシートセットしてください。
シートが一番下まで入ったら、シート回転レバーから手を離してください。

※組み立て時は、逆の手順で行ってください。

≪バッテリーに関する注意事項≫

⚠注 意

●発進、停止の繰り返しや上り坂、段差、溝乗り越えなどが多いとバッテリーからの消費電力が増えるため、通常より走行できる距離が短くなります。

●バッテリーは消耗品です。正常な使い方をしていても、充電を繰り返しいるうちに徐々に劣化し、走行時間・距離が短くなります。

●いつもよりバッテリーモーターのランプの減り具合が早くなったときや、走行できる距離が短くなったときは、バッテリーの交換時期です。早めに専用バッテリーに交換してください。そのまま使われると急激に走行距離が短くなることがあります。

●バッテリーはシールドタイプ（完全密閉型）ですので、バッテリー液の補充の必要はありません。

●冬期は気温の低下（特に 10℃以下の場合）によりバッテリーの働きが弱くなるため、走行できる距離が短くなります。 0℃以下になると走行できなくなる場合があります。

●バッテリーの充電は必ず専用充電器で行い、火気のない風通しの良いところ、雨露のかからないところで充電してください。

●バッテリーは、充電を繰り返していると本来の性能がでるようになっています。そのためバッテリーを新品に交換した直後は交換前より走行距離が短くなる場合があります。

●充電器には冷却用のファンが付いています。そばに物を置いたり、壁に近づけて冷却の邪魔にならないようご注意ください。

●充電は必ず充電完了まで行ってください。充電の中断を繰り返すとバッテリーの劣化が早まります。

●長期間ご使用にならない場合でも、月に一度は充電してください。バッテリーを長持ちさせることができます。

●バッテリーや充電器の分解・改造はしないでください。

●坂道や冬期、使用状況や使用年数により走行時間・距離が短くなります。帰るときのことを考え、余裕を持って走行してください。

●車いすが動かなくなるまで走らないでください。バッテリーが過放電となり、寿命が短くなります。したがってメーターが赤色に点灯しましたら、直ちに充電してください。

●バッテリーは電動車いす専用のバッテリーですので､交換時には必ず当社の専用バッテリーをお求めください。万一他社のバッテリーを使用されますと、思わぬトラブルのもとになりますので、くれぐれもご注意ください。

⚠注 意

●バッテリーを交換するときは 2 個同時に交換してください。
●使用済みバッテリーはそのまま廃棄せず、販売店にご相談ください。

10. 運　搬

電動カートを運搬するときは、図のように運搬する車両にスロープを置いて電動カートを車両に積み込んでください。

⚠注 意

●クラッチレバーを上に上げた状態(手動の状態)にしてください。また、積み込み後は、必ずクラッチレバーを下に下げた状態（電動の状態）にしてください。（詳しくは 23 ページの「7.運転方法<手で押して移動するとき>」をご参照ください。）
●積み込みの際には、必ず 2 人以上で作業してください。
●積み込んだ後は、ロープなどで確実に固定してください。電動カートを固定していないと、急ブレーキをかけたときなどに電動カートが動き、思わぬ事故の原因となります。
●電動カートに人を乗せたまま車両に積み込んだり、運搬しないでください。（車いす送迎車など、専用の装備、改造が施された車両は除きます。）

11. 仕 様

〈各部寸法〉・・・・・・・・・・・・・・・記載の寸法や状態は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

寸法表

型式			電動カート　KE777（New ロマンス）
寸法	全長	(mm)	1190
	全幅	(mm)	600
	全高	(mm)	1090
シート	座面幅	(mm)	500
	座面奥行	(mm)	500
	背もたれ高さ	(mm)	450
ステップ高さ		(mm)	160
本体重量		(kg)	105（バッテリ含む）

〈各部仕様〉・・

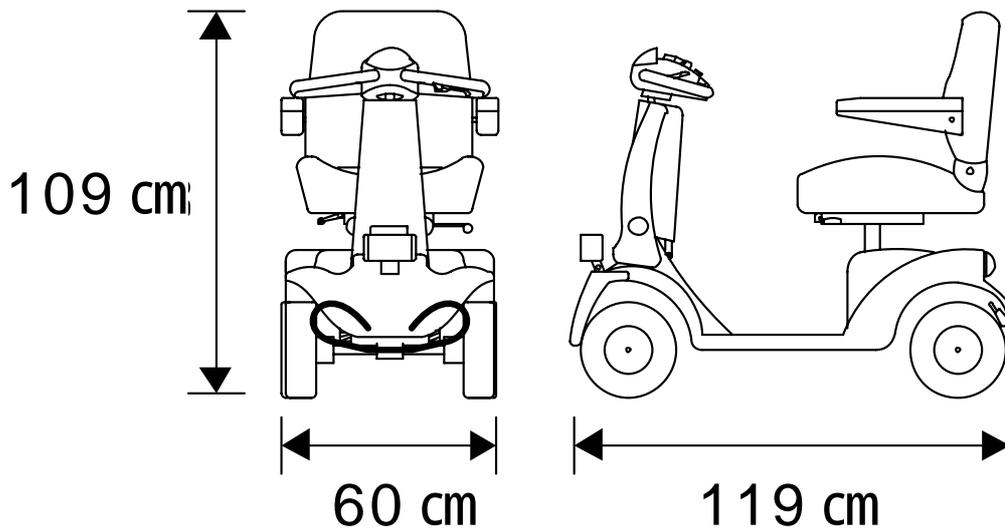
標準仕様・規格

モーター		30 分定格出力	24V 360W x 1 個
バッテリ		使用個数	2 個
		電圧	12V
	容量	5 時間率	32Ah
		20 時間率	38Ah
充電器			内蔵型　家庭用電源 100V 使用
前輪・後輪			直径 260 ㎜ x 幅 85 ㎜（3.00-4）黒色タイヤ
駆動方式			後 2 輪直接駆動方式（デフ付）
制動方式			モーター発電制動・全自動電磁ブレーキ
操舵方式			ハンドルによる前車輪操舵方式
制御方式			アクセルレバーによるマイコン無段階速度制御
最高速度		前進	0～6km/h
		後進	0～4.2km/h
実用登坂角度			10 度
連続走行距離（※1）			21km
最小回転半径			163 ㎝
段差乗り越え高さ			最大 6 ㎝（直進時）
溝乗り越え幅			最大 10 ㎝
使用者最大体重			100kg（積載物含む）

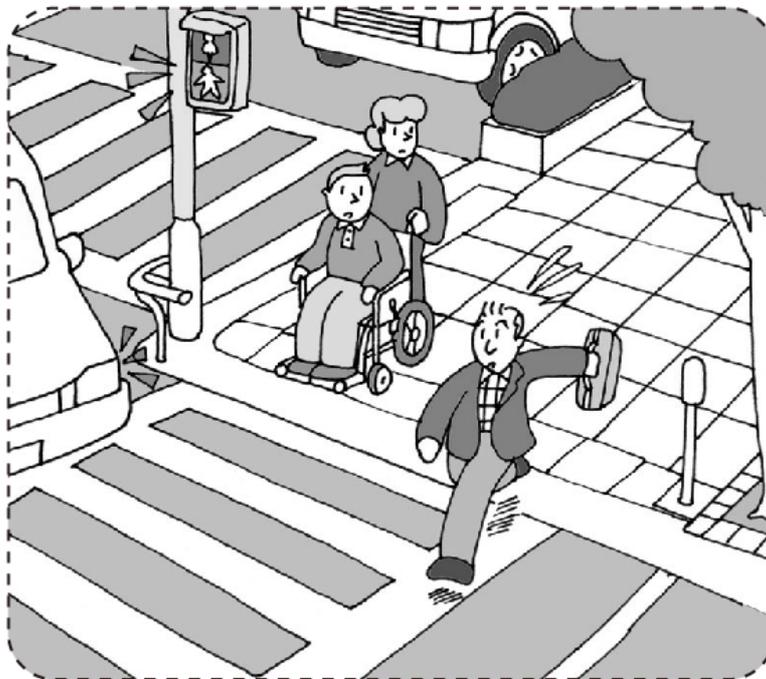
※1：連続走行距離は、常温（20℃）、重量（100kg）、満充電のバッテリーで平坦路を 6km/h で連続走行し、バッテリー放電 70%までの距離を示します。

※上記仕様は改良等により、予告なしに変更する場合があります。

※KE777 の基本性能は JIS9203-1999 の基準に適合しています。

＜外観図＞

⚠ 警 告

●いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
●車道はできるだけ通らず、歩道や充分な幅のある路側帯を通りましょう。

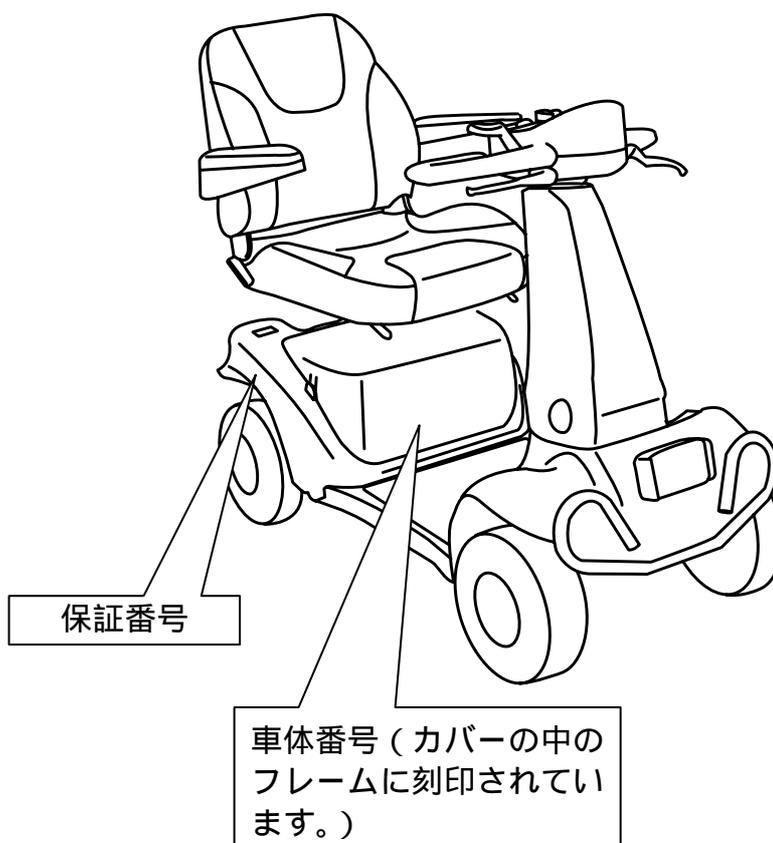
車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。

●「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある
歩行者専用道路も通ることができます。
●信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。
「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、走行を心掛けましょう。

12.車体番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、車体番号を記録しておいてください。
車体番号は車体カバーをあけて、中央下部のフレームに刻印されています。

車　　　種	KE777　New ロマンス
車 体 番 号	

＜車体番号刻印位置＞

13. お手入れと点検

＜日頃のお手入れ＞

・ホコリや泥などで汚れた場合はそのまま放っておかずに、水気をよく絞ったやわらかい布などで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取り、その後、水気をよく絞った柔らかい布で拭き取ってください。

⚠注 意

●水などをかけないでください。（水洗いはしないでください。）
電気部品の故障やモーターの回転不良などの原因になる恐れがあります。

●シンナー、ベンジン、ガソリン等で拭かないでください。
変形や損傷などの原因となります。

●から拭きしないでください。

＜保管＞

・使用しないときは風通しの良い車庫や屋根のあるところに保管してください。
・直射日光・風雨・湿気の多いところでは保管しないでください。
・クラッチレバーは必ず下に下げた状態（電動の状態）で保管してください。

＜日頃の点検＞

・21 ページの「7.走行前に点検してください」をご参照ください。
・消耗部品の交換が必要か確認してください。

[消耗部品について]

部品	説明
①タイヤ	タイヤの溝がなくなってきたら、早めに取り替えてください。
②バッテリー	年に一度は交換してください。使用してなくても、自己放電して電気容量が減っていきます。減りすぎると、いくら充電しても元の性能は戻らなくなり、バッテリーが使用不能になってしまいます。
③モーターのブラシ	年に一度は交換してください。前後切替ができなくなる恐れがあります。交換の際には、販売店にご相談ください。
④電球 (前照灯･後照灯･方向指示灯)	電球が切れたら、交換してください。
⑤ブレーキワイヤー	年に一度は交換してください。
⑥ブレーキパッド	ブレーキの効きが悪くなる前に交換してください。

⚠警 告

●改造は事故・故障の原因となりますので、絶対にしないでください。

１４.定期点検と記録

安全に使用していただくために下表にしたがって 1 ヶ月毎に点検してください。

＜車体まわり＞

反射板 (リフレクター)	汚れや損傷はありませんか？ 破損、ガタはありませんか？
タイヤ	亀裂や損傷はありませんか？ タイヤはすり減っていませんか？ 釘、石、その他の異物が刺さったり、噛みこんだりしていませんか？ 空気は減っていませんか？
タイヤ取付部	ボルトの緩みやガタはありませんか？
バッテリー	接続部の緩みはありませんか？ 外装の変形やひび割れはありませんか？
配線	ケーブルの破損はありませんか？ コネクターの緩み、損傷はありませんか？
クラッチレバー	正常に作動しますか？
シートレバー	正常に作動し、確実に固定されていますか？
ネジ、ノブ類	緩みはありませんか？
手押し用ブレーキ	正常に作動しますか？

＜座席に座って＞

ハンドル	大きなガタつきはないですか？ 左右スムーズに動きますか？
バッテリーモニター	満充電後に残量表示の目盛りがすべて点灯していますか？
緊急停止スイッチ	停止できますか？
ホーン(警笛)スイッチ	ホーンはなりますか？
方向指示スイッチ	左、右それぞれ点滅しますか？
前照灯スイッチ	ライトは点灯しますか？

＜走行して＞

アクセルレバー	押さえる、放すの操作で走行、停止しますか？
前・後切替スイッチ	前進・後進しますか？後進時、ブザーが鳴りますか？
最高速度設定ダイヤル	速度変化しますか？
モーター	異常音はないですか？ 電磁ブレーキは平坦路では 1m以内で止まりますか？ 下り坂（10 度以下の坂）では 1.5m以内で止まりますか？

＜定期点検記録簿＞

（ご利用者様・ご家族様へ）
定期点検記録を下表にご記入ください。

点検項目					
反射板（リフレクター）					
タイヤ					
タイヤ取付部					
バッテリー					
配線					
クラッチレバー					
シートレバー					
ネジ、ノブ類					
非常用ブレーキ					
ハンドル					
バッテリーモニター					
ホーン（警笛）					
方向指示器					
ヘッドライトスイッチ					
アクセルレバー					
前・後進切替スイッチ					
最高速度設定ダイヤル					
モーター					
点検実施店名					
点検実施日					

＜部品交換の記録＞

15. 故障かなと思ったら・・・

次のような症状がみられたら、次の表に従い点検を行ってください。
それでも異常がみられる場合はただちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

症状	点検方法	対処方法
電源スイッチを「入」にしてもランプが点灯しない	バッテリーの残量がなくなっていませんか？	⇒販売店に相談し点検を受けてください。
	バッテリーのコネクターが外れていませんか？	⇒「カチッ」と音が鳴るまで確実に差し込んでください。
走らない	充電コードプラグをコンセントに差し込んでいませんか？	⇒充電コードプラグを抜いてください。
	電源スイッチは入っていますか？	⇒キーを差し込んで時計回りにまわしてください。
	バッテリーモニターのランプは6個全て点灯していますか？	⇒バッテリーを充電してください。
	クラッチレバーは上がって(手動になって)いませんか？	⇒クラッチレバーを下げて電動にしてください。
	操作をしない状態で 10 分経過していませんか？	⇒電源を入れ直してください。
後進しない	モーターのブラシが磨耗していませんか？	⇒モーターブラシを交換してください。
走行時間が短くなった	充電が完了するまで充電しましたか？	⇒充電が完了（充電器の緑ランプ点灯）するまで充電してください。
	バッテリーを交換したのは1年以上前ですか？	⇒バッテリーを交換してください。
走行中に停止する	バッテリー残量が不足していませんか？	⇒バッテリーを充電してください。
	タイヤが溝にはまっていたり、乗り越えられない段差を走行しようとしていませんか？	⇒一旦アクセルレバーから手を放し、本機が動ける状態にしてから走行してください。
	急な登り坂を走行しようとしていませんか？	⇒ゆるやかな坂道か平坦路に戻ってください。
	長い坂道を連続走行しようとしていませんか？	⇒直ちに安全な場所へ移動し、5 分以上休ませてください。
充電できない	電源スイッチが「入」になっていませんか？	⇒電源スイッチを「切」にしてキーを抜いてください。
	電源が入らないほどバッテリー電圧が低下していませんか？	⇒バッテリーを交換してください。
	充電器の電源ランプ(緑色)は点灯していますか？	⇒コンセントの差し込みをお確かめください。
	充電差込プラグはしっかり接続されていますか？	⇒プラグの差し込みを確認してください。

16. 保証

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。
返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。
※ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

★保証期間

お買い上げ日より１年間です。（消耗部品は含みません。）

★保証期間後

保証期間後はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

★消耗部品

・タイヤ
・バッテリー
・モーターのブラシ
・ブレーキワイヤー
・ドラムブレーキ本体
・電球(前照灯･後照灯･方向指示灯)
・ベアリング
・可動部のブッシュ
・電磁ブレーキ本体

★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗および取扱不注意による破損
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
（ｆ）一般に電動カートが走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
（ｇ）製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
（ｈ）取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
（ｉ）取扱説明書に禁じられてる使用方法によって生じた故障
（ｊ）ご購入後 1 ヶ月以内に返送用登録はがきをご返送いただいていない場合
（ｋ）日本国外でご使用の場合

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで

各自治体の取り決めにしたがってください。

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町１-３-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル ５階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原１-18-3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2010.04 版